

# 第15回 千葉県地区対抗中学生選抜バスケットボール大会 総評

千葉県バスケットボール協会が主催する、第15回千葉県U14地区選抜対抗バスケットボール大会が、12月4日、10日、11日に富津市総合社会体育館をメイン会場に行われた。予選リーグでは、千葉県新人大会のベスト4の中学校を擁する地区がシード地区としてリーグを組んでいる。

本大会は、毎年各リーグとも熱戦が繰り広げられ、千葉県新人大会では見ることができなかった、すばらしい選手たちの活躍が光る大会である。また、各地区の競技力の向上、有望選手の発掘、千葉県のバスケットボールのすそ野を広げる、等に重要な役割を果たす大会となっている。

また、昨年度に引き続き、JBAの提案している「15歳以下でのマンツーマンディフェンスの推進」に対応するためにコミッショナーを全試合に配置し、千葉県として、よりマンツーマンディフェンス強化を図る大会となった。

予選リーグでは、県大会で活躍した選手のプレーが光るシード地区に加え、そのシード地区に迫る勢いでチーム力を強化してきた地区の活躍が見られた。特に女子の山武地区はシードチームを破っての決勝トーナメント進出となった。

男子決勝は、4大会ぶりの優勝を目指す船橋地区と、実に11年ぶりの決勝進出となった、古豪印旛地区との一戦となった。両チームとも、力強いインサイドやシュート力のあるフoward選手をそろえる。序盤、船橋地区はアウトサイドシュートを良く沈めリードを奪うも、印旛地区は激しいディフェンスや粘り強いリバウンドからチャンスを作り、得点につなげていく。両者一歩も譲らずに迎えた後半、印旛地区が、力強いリバウンドからのチャンスを生かしアウトサイドシュートやバスケットカウントを沈め、徐々に船橋地区を突き放す。対する船橋地区も、ミドルシュートや鋭いドライブで追いかける。船橋地区は最後まで足を止めずに攻め続けるも、印旛地区が逃げ切り、優勝を決めた。

女子決勝戦は、初の決勝トーナメント進出で勢いにのり初優勝を目指す八千代地区と、3年ぶりの優勝を狙う船橋地区との対戦となった。八千代地区は、高さを生かした攻防でリズム良く得点を重ねる。対する船橋地区は巧みなドリブルから、果敢に1on1をしかけ得点する。八千代地区リードで折り返した後半、八千代地区は相手のミスを逃さず、スティールからの速攻でその差を広げる。船橋地区も、粘り強いリバウンドから、セカンドチャンスを生かしスリーポイントで応戦する。差がなかなか縮まらない中むかえた最終ピリオド、船橋地区は早い展開からの1on1で相手のファウルを誘い、フリースローを確実に沈めていく。八千代地区は、落ち着いてゲームを運び、追従を許さない。そのまま試合が終了し、八千代地区が初優勝を果たした。

男子	
優勝	印旛地区
準優勝	船橋地区
第3位	千葉地区
第4位	八千代地区

女子	
優勝	八千代地区
準優勝	船橋地区
第3位	市川・浦安地区
第4位	山武地区

## 男子優勝 印旛地区 (11年ぶり4回目)

コーチ	清水 剛	四 街 道	
アシスタントコーチ	白井 駿 佑	白 井	
マネージャー	駒野 和輝	八 街	
No.	選 手 氏 名	学 年	学 校 名
4	岡 戸 幸 輝	2	成 田 西
5	平 井 康 太 郎	2	成 田 西
6	西 濱 京 冴	2	富 里
7	平 山 泰 我	2	富 里
8	鈴 木 七 星	2	八 街 南
9	栗 本 琉 碧	2	西 の 原
10	木 下 貴 稔	2	木 刈
11	小 田 桐 翔	2	四 街 道 北
12	マクロークリン 耀イアン	2	成 田
13	江 口 由 希	2	玉 造
14	八 嶋 航 生	2	印 西
15	塚 本 智 裕	1	成 田 西

## 女子優勝 八千代地区 (初優勝)

コーチ	宋 戸 隼	八千代市教委	
アシスタントコーチ	長谷高 崇	大 和 田	
マネージャー	熊谷 智史	高 津	
No.	選 手 氏 名	学 年	学 校 名
4	谷 内 日 和	2	大 和 田
5	岡 島 歩	2	村 上
6	山 口 菜 摘	2	東 高 津
7	斉 藤 愛 沙 美	2	阿 蘇
8	小 林 未 空	2	阿 蘇
9	櫻 井 こ の か	2	八千代松陰
10	内 藤 有 彩	2	高 津
11	則 安 夢 実	2	高 津
12	石 井 星 愛	2	村 上
13	菅 野 愉 子	2	大 和 田
14	渡 邊 美 彩	2	東 高 津
15	白 井 悠 月	2	東 高 津